

# 子宮頸がん予防ワクチン（HPV ワクチン）



2023 年度より9価 HVP ワクチンが公費接種の対象となりました（詳細は後述）

## HPV ワクチンの積極的勧奨が再開されました

HPV ワクチンは、平成 22（2010）年 11 月から接種がはじまり、平成 25（2013）年4月に予防接種法に基づく定期接種に位置づけられました。が、接種後に重篤な副反応が生じたという報告と報道があり、平成 25（2013）年6月から積極的勧奨を差し控えていましたが、令和3（2021）年 11 月に、専門家の評価により「HPV ワクチンの積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、原則として令和4年4月から他の定期接種と同様に、個別の勧奨を行うこととなりました（以上厚労省資料一部改変）。

## まれで重篤な HPV ワクチンの副反応について

かつて HPV ワクチン接種後に体の痛みや麻痺などを訴える女性が相次ぎ、メディアで大きく報道されました。厚労省によると、接種した人 1 万人のうち約 10 人は、接種後に何らかの症状が報告され、このうち、約 6 人は入院など、重篤な症状と判断されています。こうした症状が実際に起きていることは事実でも、その後の慎重な調査でこれが「HPV ワクチンそのもののせいで起きた症状とはいえない」というデータが出ています。国が HPV ワクチンの安全性を確認するために行った調査では、次のような結論が発表されました。

また、世界保健機構（WHO）も HPV ワクチンの健康上の影響は問題ないと結論付けています（2016年）

## 疫学調査（祖父江班） 結論

HPVワクチン接種歴のない者においても、  
HPVワクチン接種後に報告されている症状と同様の  
「多様な症状」を有する者が、一定数存在した。

ワクチンの安全性については、今後も継続調査をする必要があります。HPV ワクチン接種後に、因果関係は分からなくても、多様で複雑な症状が出た場合、どうぞご遠慮なく担当医師にご相談ください。

参考：HPV ワクチン接種後によく見られる一時的で軽微な副反応について

| 発生頻度     | サーバリックス®(2価HPVワクチン)               | ガーダシル®(4価HPVワクチン)    |
|----------|-----------------------------------|----------------------|
| 50%以上    | 疼痛(99.0%)、発赤(88.2%)、腫脹(78.8%)、疲労感 | 疼痛(82.5%)            |
| 10～50%未満 | 掻痒、腹痛、筋痛・関節痛、頭痛等                  | 腫脹(25.4%)、紅斑(30.2%)  |
| 1～10%未満  | 蕁麻疹、めまい、発熱等                       | 掻痒・出血・不快感、頭痛、発熱      |
| 1%未満     | 注射部位の知覚異常、感覚鈍麻、全身の脱力              | 硬結、四肢痛、骨格筋硬直、腹痛・下痢   |
| 頻度不明     | 四肢痛、失神、リンパ節症等                     | 疲労・倦怠感、失神、筋痛・関節痛、嘔吐等 |

子宮頸がんは日本で毎年約 3000 名の女性の生命を奪っているがんであり、手術によって子宮を失い、あるいはがん治療の後遺症で苦しんでいる女性はさらにその数倍いることを考えると、子宮頸がん予防ワクチン（HPV ワクチン）は副反応のリスクを大きく上回る利益をもたらすものと考えます。

HPV ワクチンの定期（公費）接種について

- 定期接種の対象者：小学校 6 年～高校 1 年相当の女性※
- ※誕生日が 1997 年 4 月 2 日～2006 年 4 月 1 日までのかたで過去に HPV ワクチンを 3 回接種していないかたは、2022 年 4 月～2025 年 3 月までの 3 年間、特例で公費接種が受けられます（詳細はお住まいの市町村にお尋ねください）
- 定期接種で用いるワクチン：当院では 2022 年度までガーダシル（4 価ワクチン）を使用しましたが、**2023 年度からシルガード 9（9 価ワクチン）を使用します**（年度をまたいで接種するかた、1-2 回接種で中断された方は次ページ以降をお読みください）

ワクチン接種のスケジュール



- ※1：1 回目接種から 1 か月以上あける
- ※2：1 回目接種から 5 ヶ月以上（または 2 回目接種から 2 ヶ月半以上）あける
- ※3：1 回目接種から 1 か月以上あける
- ※4：2 回目接種から 3 ヶ月以上あける

当院で HPV ワクチンの定期（公費）接種ご希望のかたへ

当院では金曜日午後と土曜日午前中の婦人科外来で随時承っています。HPV ワクチン接種は予約が必要ですので、あらかじめ当院医事課までご連絡ください。

参考：ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がんと HPV ワクチン～厚労省 HP



# 9 価子宮頸がん予防ワクチン（シルガード 9®）をご希望の方ならびに保護者さまへ

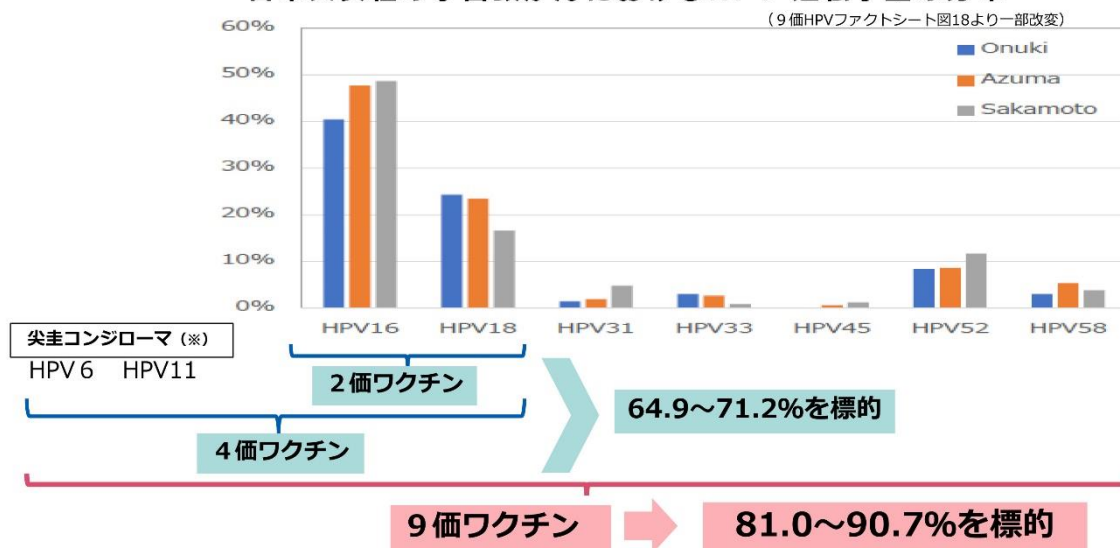


2023 年度から 9 価ワクチン（シルガード 9：MSD 製造）が公費接種の対象となりました

## 本邦で承認されているHPVワクチン



日本人女性の子宮頸がんにおけるHPV 遺伝子型の分布

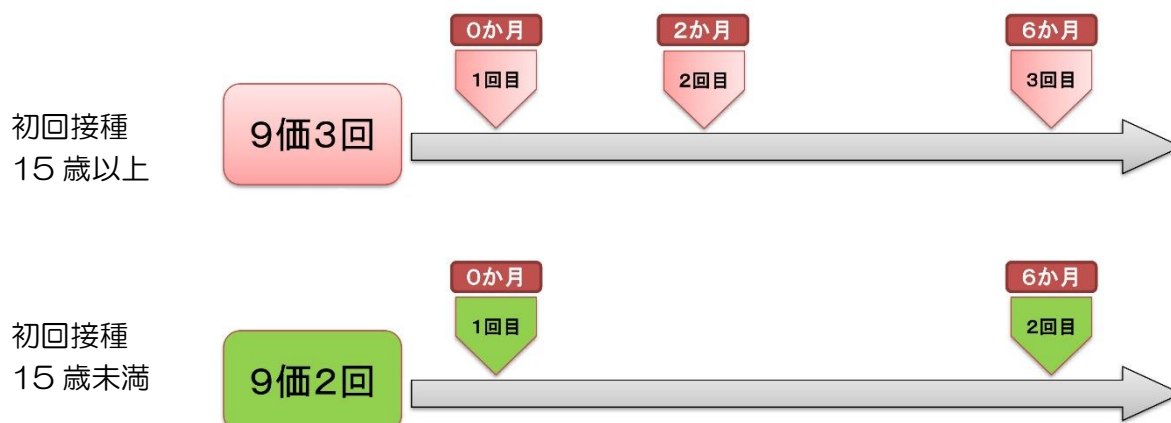


※ HPV6、11型は、尖圭コンジローマの主な原因となる遺伝子型である。

9 価ワクチンを規定通り接種した場合 HPV に対してより高い感染予防効果があります。  
(交互に接種した場合のデータはありません)

## 9 価ワクチンになって変わる点

① 接種回数・間隔が 15 歳未満と 15 歳以上で変わります



② 従来の 4 価ワクチン（ガーダシル）と副反応の違い（厚労省第 88 回厚生科学審議 令和 4 年 11 月 11 日 より）

- ・ 9 価 HPV ワクチンの添付文書において、重大な副反応として挙げられている症状は、4 価 HPV ワクチンと同様であり、いずれも現状の「ヒトパピローマウイルス感染症に係る予防接種の副反応疑い報告基準」で想定された範囲内でした。
- ・ 9 価 HPV ワクチンの安全性について、4 価と比較し、接種部位の症状の発現は多いが、全身症状は同程度であるとされています。

## 従来使用されてきた HPV ワクチンとの交接種について

シルガード 9 の製造元 MSD 社は

「本剤と他の HPV ワクチンの互換性に関する安全性、免疫原性、有効性のデータはない」

ので、ほかの HPV ワクチンを 1 回以上接種された方の場合は、原則としてそれまで接種した同一のワクチンで接種を完了することを推奨しています。また、すでにほかの HPV ワクチン接種を全回数完了済みの方に対する適応はありません。

しかし最近の海外論文では交接種した場合の安全性と免疫原性が一定程度明らかになっています。

第 52 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会・資料 5、2023（令和 5）年 2 月 8 日

○ 4 価 HPV ワクチンを 1 回接種してから 3～8 年後に 9 価 HPV ワクチンを 1 回接種（9～14 歳、31 人）した場合、接種 1 ヶ月後の HPV31/33/45/52/58 型に対する抗体価は全員陽性となった。9 価 HPV ワクチン接種後 1 か月のフォローアップ期間中、重篤な有害事象は報告されなかった。Chantal Sauvageau et al. Hum Vaccin Immunother.2020;16(3):590-594

○ 9～10 歳の全被験者において、2 回目接種 1 ヶ月後に 9 種全ての HPV 型に対する抗体価が陽性となった。HPV16/18 型に対する GMT は、交接種の方が高く、他の 7 種の

HPV 型に対する GMT は 9 価 HPV ワクチン 2 回接種の方が高かった。交接種と標準接種の場合で安全性プロファイルに有意差は認められなかった。Vladimir Gilca et al. Vaccine.2018 Nov 12;36(46):7017-7024.

○ 4 価 HPV ワクチンの接種歴がある 12~26 歳の女性に 9 価 HPV ワクチンの 3 回接種を行ったところ、HPV31/33/45/52/58 型に対して高い免疫原性が得られ、安全性も許容範囲であった。Suzanne M Garland et al.Vaccine.2015,Pages 6855-6864.

⇒ これらの論文では 2 価または 4 価ワクチンと 9 価ワクチンの交接種について、一定程度の免疫原性と安全性が示されています。

添付文書外の使用方法ではありますが、厚生労働省の部会では交接種を容認する意見があります。

HPV ワクチンの接種は、同じ種類のワクチンで接種を完了することを原則とするが、2 価または 4 価 HPV ワクチンを用いて規定の接種回数の一部を完了した者が 9 価 HPV ワクチンにより残りの回数の接種を行う交接種についても、安全性と免疫原性が一定程度明らかになっていることや海外での取扱いを踏まえ、適切な情報提供に基づき、医師と被接種者等がよく相談した上※であれば、実施して差し支えないこととする（令和 4 年 11 月 第 50 回予防接種基本方針部会における結論・厚生労働省）

#### ※「適切な情報提供に基づき、医師と被接種者等がよく相談」のまとめ

すでに 2 価、4 価ワクチンを 1 回以上接種した方に対して、9 価ワクチンを交接種した場合

- ① あらたに重篤な副反応が出現する可能性は高くありません
- ② すでに接種したワクチンの効果が減弱する可能性は低いと推定します
- ③ しかしながら、従来ワクチンで完了した場合と比較して、交接種によって感染予防効果が上乗せされるかについてはわかりません